

被災地支援プロジェクト①

PttP.KOTOBAoffice

2011. 7. 14

南三陸町あさひ幼稚園

被災地支援プロジェクトについて

【PttP.KOTOBAoffice】は “言葉” を通じて
沢山の人たちに、“勇気” と “元気” を
与えたいと考えています。

その活動の一環として、被災地の子ども達に
向けた「絵本の読み聞かせ」を継続中。

被災地の子供達が元気にスクスクと育つことを
願って、素敵な作品を “声” で贈りましょう。

南三陸町の幼稚園での活動

訪問先：南三陸町の「あさひ幼稚園」(7・14)
(南三陸町は町のほとんどが津波で流された地域です)

津波で園舎が流された「あさひ幼稚園」は現在志津川小学校の校舎などを使って臨時の授業を行っています。

その授業の間にお邪魔しました。

使用した絵本

- なんでかな？
- デカデカ
- おやおや、おやさい
- おつきさまってどんな味？
- おたまさん



読み聞かせについて

i 子供達への挨拶 : 参加35人(年少・年中・年少)

ii こんにちは輪の運動

→ こんにちはワ！で頭の上で輪を作る

iii 絵本の読み聞かせ(約20分)

終了後、リクエストに答えて
数人の子供たちに個別に読む



活動の中での子どもの変化

今回が、読み聞かせとしては三回目の活動となります。

震災から4ヶ月。子供達にも変化がありました。

当初は避難所(名取市)にお邪魔したこともあり、子供たちの中には、

①集中力がない(お絵かきをしながら読み聞かせを聞く)

②言葉遣いなどが攻撃的

③おんぶして欲しいなど寂しがる

④一緒に遊びたがる

などありましたが、今回の南三陸町の幼稚園では、授業が再開している

こともあり、子供達は集中して絵本の読み聞かせに聞き入っていました。

ただ、たまたま訪問中に余震があった際、自分の被災体験を詳細に話し

始める子供もいて、まだまだ地震と津波の記憶は子供達の心に残っている

ということも感じられました。

協賛各社

今回、被災地訪問にあたり、ご覧の各社からご協力を頂きました。

- ・長崎出版 → 絵本数冊の提供
- ・夢民村 → トマト4Kg×4の提供（写真左）
- ・RKB毎日放送 → ラジオ取材、移動協力
- ・東日本放送 → 「絵本deえがお」プロジェクト冊子提供（写真右）



ご協力ありがとうございました！！